

英語によるプレゼンテーション法 (2単位)

担当者氏名 担当教員全員

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

研究の成果を学会や関連のシンポジウムなどにおいて英語で発表することは、重要な経験である。しかし、発表においては効果的な発表の技術があり、これを修得することは学会発表のみならず様々な場面で有用となる。実際に英語によるプレゼンテーション準備から発表、また事後による評価や改善までおこなうことにより、これを体得することを目標とする。合わせて、学会などにおける同じ分野の研究者などとの交流の深化も期待される。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

学会口頭発表 学会ポスター発表 プレゼンテーション能力 英語

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	講義概要の説明	英語による発表とその意義を理解。	学会あるいは関連のシンポジウムなどで口頭あるいはポスターによる発表の練習を授業の準備としておこない、実際の学会発表の場で活かせるよう努力する。発表までのすべてのプロセスと指導を受けた内容や時間を詳細に記録するとともに、学会のプログラムなどを保存すること。
2	学会の種類と登録法	学会の種類と登録法を理解。	
3	講演要旨の執筆 1	事例を調べスタイルを理解する。	
4	講演要旨の執筆 2	発表用の講演要旨を執筆する。	
5	プレゼン法 1	口頭やポスターによるプレゼンの事例を収集し、効果	
6	プレゼン法 2	的なプレゼン法を理解のうえ、発表用のプレゼン資料	
7	プレゼン法 3	を作成する。あわせて、英語による効果的なプレゼン	
8	プレゼン法 4	テーション方法を学ぶ。	
9	質疑応答の技術	質疑応答について練習する。	
10	発表 1	予行練習を行なう。	
11	発表 2	学会での発表を行なう。	
12	国際学会への理解 1	学会に参加して英語の発表などを聞き、手法を理解す	
13	国際学会への理解 2	るとともに学会の意義を学ぶ。あわせて英語による質	
14	国際学会への理解 3	疑応答の実際を経験する。	
15	まとめと評価	学会参加の成果と反省点をまとめる。	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

授業中に指定する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

授業中に指定する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

プレゼンテーションの準備 (50点)、学会での発表 (50点)。

◆オフィスアワー

質問等があれば随時担当教員にコンタクトすること。

◆その他受講上の注意事項

積極的に学会発表をおこなえるように努力すること。